

Urban Design Lab. Magazine

都市デザイン研究室マガジン



ゆく川の流は絶えずして

The Flowing River Never Stops and Yet the Water Never Stay the Same.

2020年3月、世の中は驚いている間もないほどに目まぐるしく変化した。自分の周りを取り巻いていた当たり前が、根底からくつがえった。盛大に修了生と卒業生を送り出せることも、いつも歓迎してくれる地域に足を運べることも、当たり前だと思っていた。研究室を旅立った同志たちは、ひとところに留まらずそれぞれのフィールドで活躍し、次々に道を切り拓いていくのだろう。いつかの再会に向けて、我々も今できることを積み重ねたい。

—Contents

- P2-3 プロジェクト、2019年度のあゆみ
- P4 次なる舞台へ、思い出を携えて
+ Information

プロジェクト、2019年度のあゆみ

List of Project Activities in FY2019

text_MUNENO / M1

早いもので2019年度の終わりが近づいています。修士1年生がプロジェクト活動に参加してから気が付けば1年。それぞれのフィールドに足を運びながら奮闘してきました。ここで、都市デザイン研究室・地域デザイン研究室が主催するプロジェクトの2019年度の活動総まとめをします。自分が所属しているプロジェクトの活動に必死で、実は同期が取り組んでいるプロジェクトの動きを知らないという人が多いのではないのでしょうか。この総まとめが、プロジェクト間での情報共有等に生かされれば良いなと思っています。

2019年度プロジェクト報告会を開催します！

今年の報告会には都市デザイン研究室・地域デザイン研究室主催のプロジェクトに加え、まちづくり研究室主催のプロジェクトや自主プロジェクトが参加。合計12のプロジェクトが、各フィールドでの取り組みについて報告します。今回は初めて、オンラインで開催。参加方法などは都市デザイン研究室ホームページに記載しています。ぜひご参加ください！

日時：2020年4月8日（水）19：00～21：00
 プログラム：各プロジェクト活動報告（上野PJ、手賀沼PJ、内子PJ、高島平PJ、富士吉田PJ、三国PJ、富山PJ、小高PJ、浦安PJ、小布施PJ、本郷PJ、パークコンテンツ研究会）
 詳細：都市デザイン研究室 HP <http://ud.t.u-tokyo.ac.jp/ja/news/2020/2019.php>

	手賀沼プロジェクト	高島平プロジェクト	上野プロジェクト	三国プロジェクト	富山プロジェクト	富士吉田プロジェクト	内子プロジェクト	浦安プロジェクト	小高プロジェクト
	環境資源を活用したランドスケープ・アーバニズム	計画的市街地の文脈を読み解く	開かれた上野文化資源区 構想から実践へ	空き町家の活用を基軸とした 住み続けられる 歴史的市街地の実現	Compact city と Livable city の接続	国道の拡幅を契機とした 歴史・文化を生かす まちづくり	歴史的風致を活用し 住民とまちづくりを	どこか懐かしい暮らしの名残を追い求めて	地震・津波・原発 複合被災地域の再構成に向けて
2019									
4月	4/6 竣工現場見学								
5月									
6月		6/17 建築学会コンペ提出							
7月		7/6 URBAN DESIGN WALK&TALK vol.1							
8月									
9月									
10月									
11月									
12月									
2020									
1月									
2月									
3月									

2018年度に取り組んだ設計が実現。これを基盤として2019年度の活動が展開されました。

定期開催！
 空きスペース活用
 ミーティング
 月に1回、地域の方と空きスペースを活用したまちの将来について議論してきました。

5/18/19 三国まちづくりカフェ
 6/17 三国高校総合学習レクチャー第1回



8/26/31 サイン計画 現況悉皆調査
 まちなか回遊サインの計画に向けて、現況のサインを悉皆調査。さらに現地で計画コンセプトをまとめました

10/8 三国高校総合学習レクチャー第2回
 11/11 関係者向けサイン調査報告会
 11/12 暮らし方調査



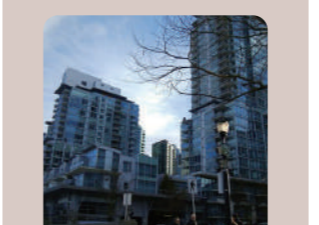
1/24 地元向けサイン調査報告会
 福井工大と協働して作り上げたサイン計画と実際のサインデザインについて、三国駅で発表しました

パブリックライフ調査
 富山市に通う学生にGPSロガーを持ち歩いてもらい、まちなかへの滞留と回遊の調査しました



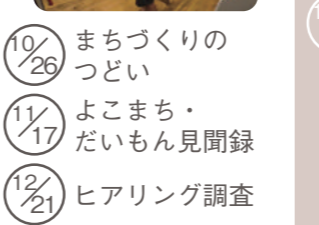
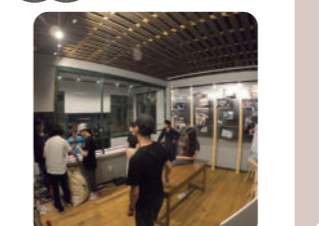
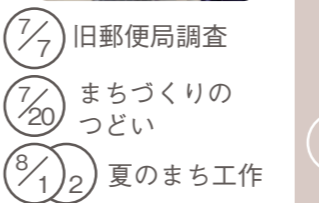
富山市のコンパクトシティ政策の評価をするために、富山駅周辺の公共空間のアクティビティ調査や、南富山、越中八尾の土地利用基礎調査を行いました。

11/10/14 現地調査
 12/29 富山市長インタビュー



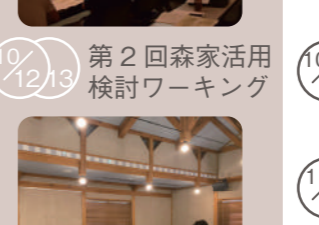
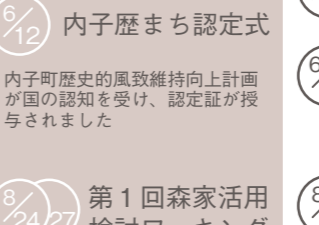
2/14/19 バンクーバー視察
 3/31 『コンパクトシティのアーバニズム』入稿

5/10 現地調査
 7/7 旧郵便局調査
 7/20 まちづくりのつどい
 8/1/2 夏のまち工作

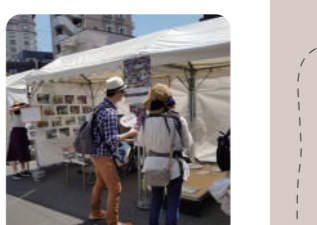


3/31 報告書提出

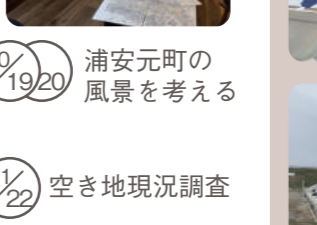
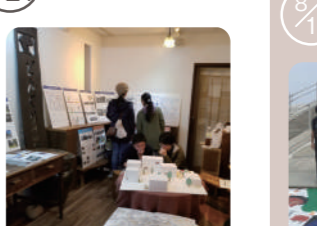
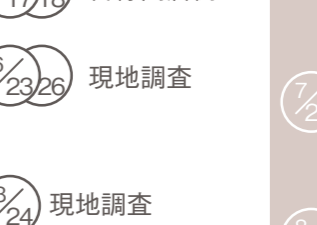
5/23/26 現地調査・森家掃除
 6/12 内子歴まち認定式
 内子町歴史的風致維持向上計画が国の認知を受け、認定証が授与されました



1/31/2 森家ノかいまみ
 森家の試験的な公開イベントを行いました
 2/18/19 第3回森家活用検討ワーキング

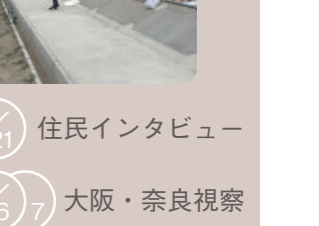
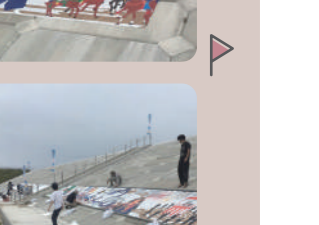
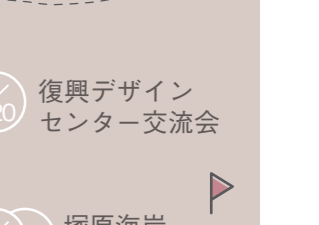


5/17/18 百縁商店街



浦安でのあふれ出しには漁師町の頃の面影が残っています。その実態を図面に記録するため、調査を行いました

定期開催！
 まちなか菜園講習会
 春に竣工した生き物観察池で、月に1回生き物観察のイベントを開催してきました



1/21 住民インタビュー
 2/6/7 大阪・奈良視察
 2/25/26 徳島視察
 3/3 住民インタビュー

次なる舞台へ、思い出を携えて

Go to the Next Stage with Memories.

4月から社会へ羽ばたくメンバーへ、ささやかながらも贈り物を。
text_OTAKE / M1



Lab. T-shirt

ありそうでなかった研究室Tシャツを作製。
ちょっとした運動やプロジェクトでの活動に気軽に着られそうな素材です。



Mini Dictionary

修士の修了生にはTシャツに加えて「総覧」もプレゼント。ひとりひとりに贈りたい漢字を集めたA10サイズの小さな漢字辞典です。
紙や箱、装丁などにもこだわりました。



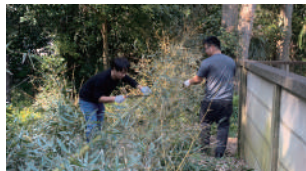
Information



新型コロナウイルス感染拡大の影響で、プロジェクトのイベントや追い出しコンパ、更には卒業式も延期・縮小してしまいました。皆様もお気をつけて……

Hey listen, -ちょっと聞いて！

3.18 竹切り出し



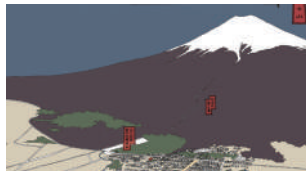
来年度開催するWSに向けて竹テントの試作を行いました。1日で完成させることは出来ませんでしたが、改めて竹という自然素材の良さを実感しました。(M1 佐鳥)

復興デザインスタジオ 報告



今年度の復興デザインスタジオは、フォーラムでの発表のかわりにビデオでの報告を行いました。愛媛県の6つの地域で事前復興について模索しました。(M1 砂川)

富士吉田 PJ の報告書を作成しました！



毎年色を変えている表紙、今年度のテーマは夜の富士山です。今後、延期中の勉強会のレポート等を追記し、紙媒体で発行します。(M1 宗野)

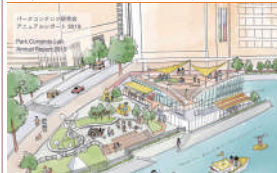
宇治 PJ 始動



先日オンラインブリーフィングが開催され、宇治PJが始動しました。現地に行けない状況なので、まずは東京でやれることを地道にやっていきたいです。(M1 沼田)

3月のWebマガジン

http://rd.t.u-tokyo.ac.jp/ia_blog



公園研究の報告書完成！

パークコンテンツ研究会の活動報告書を作成しました、レクチャーに視察に研究に、盛り沢山です。(M1 西野)



マガジン編集部員のおすすめ本
都市に関するおすすめ本を紹介。イベント自粛の中ですが、ゆつくりと本を読むのはいかがでしょうか。(M1 應武)

4月の予定

Lab Meeting

9th, 20th, 27th

- | | |
|------------|------------------|
| 4th - 5th | 小高PJ まちなか菜園講習会 |
| 8th(Wed.) | プロジェクト報告会(オンライン) |
| 19th(Sun.) | 本郷スタジオ 現地発表 |
| 19th(Sun.) | 手賀沼PJ 生き物観察会 |

✳ 編集後記

お世話になったM2の先輩方や、いつもおしゃべりの相手をしてくれたB4が修了・卒業するなんて、さっぱり実感がわきません。ウイルス感染拡大防止のため、様々なイベントが見送りとなったことが、実感のわかなさに拍車をかけています。しかし、そんなことも言っていられません。新M2として、研究室もマガジンも引っ張って行けるよう、先輩方に会った時に堂々と近況報告ができるよう、気を引き締めます。伝統ある研究室マガジンの受け継ぐべき部分、時代に合わせ変化させるべき部分を見定めて、より充実した内容を、より多くの方々に届けられるよう進化させていきます。今後ともよろしくお祈りします。(M1 宗野)

■ マガジンへのご意見・ご感想をお寄せください

ご意見やご感想を投稿していただけるフォームを試験的に開設いたします。
QRコードまたはURLよりアクセスし、お気軽にご投稿ください。
URL : <https://forms.gle/M33De1hfNReuMDxJ7>

